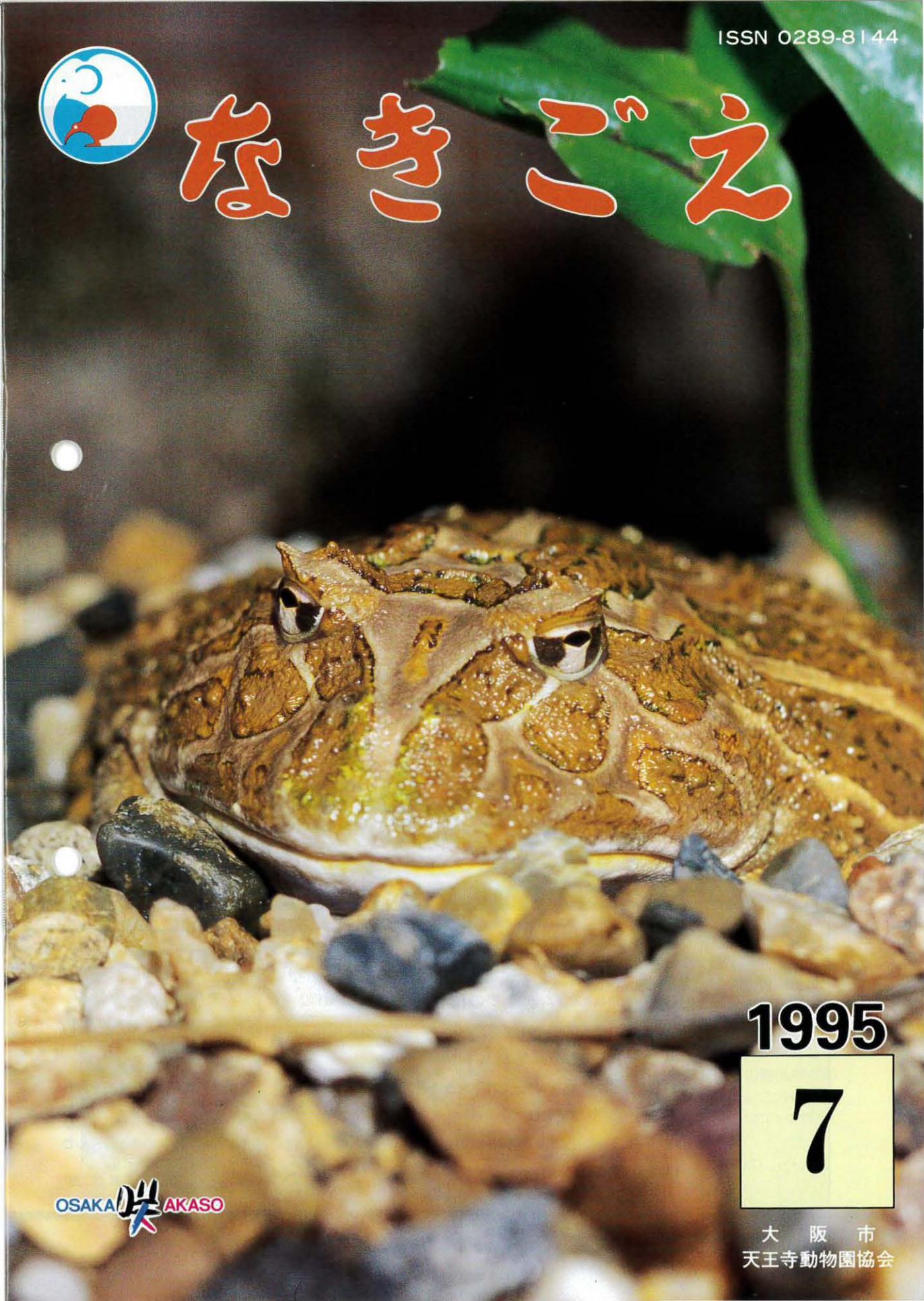


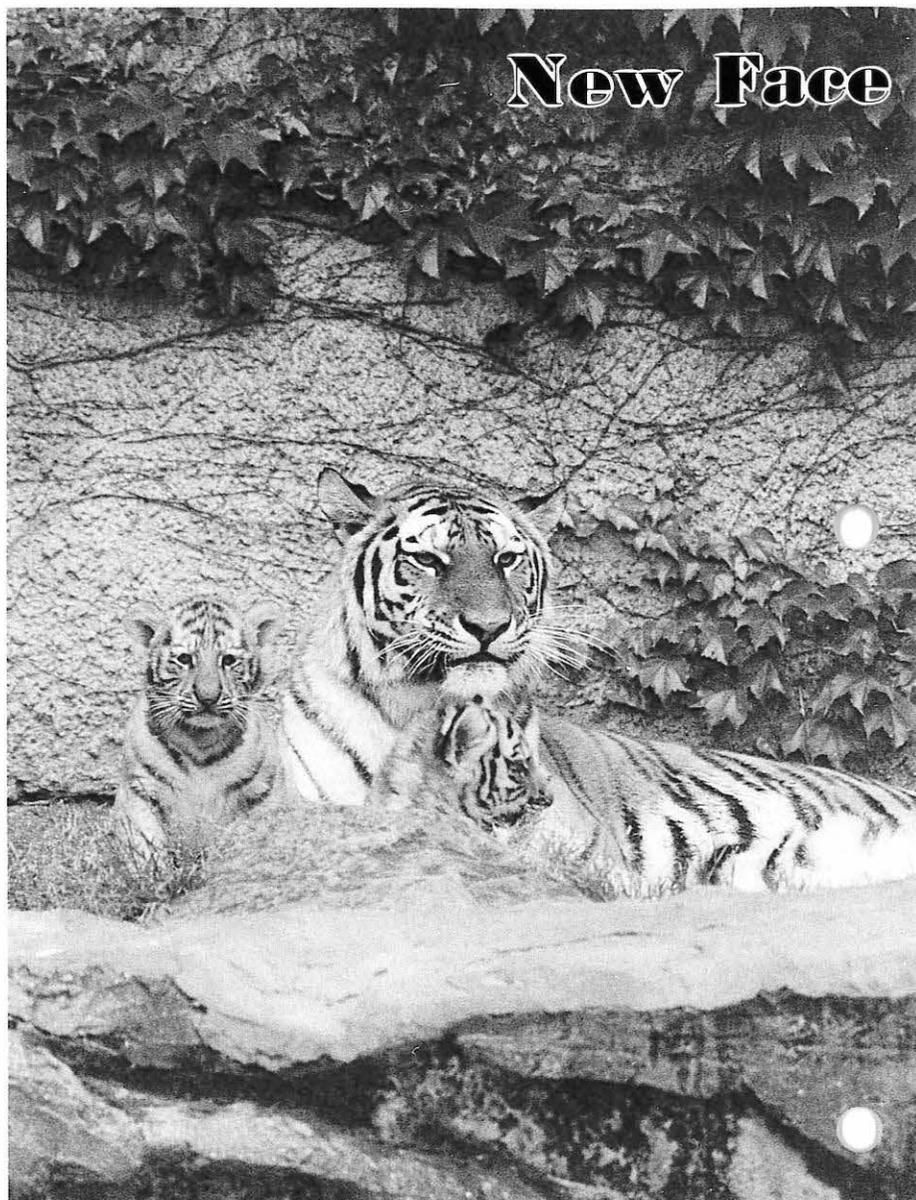


なきごえ



1995

7



New Face

(撮影：堀内 智生)

- 2 — New Face アムールトラの赤ちゃん誕生(堀内 智生)
- 3 — 動物と私 ムササビの棲む森で(河野 敏輝)
- カバーウォッチング クランウェルツノガエル(長瀬 健二郎)
- 4 — ゴリラから見たヒト(山極 寿一)
- 6 — ZOOセミナーのアンケートから(大野 尊信)
- 8 — グラフZOO 舌(中川 哲男)
- 10 — 公園花だより⑭(仁田原 洋)
- 11 — ZOO DIARY

カバーウォッチング

クランウェルツノガエル
カエル目 ミナミガエル科
Ceratophrys cranwelli

その大きな口は体の半分位もあります。通りがかった虫からネズミ、はてはトカゲまでパクリ。南米の森林の地上に住んでいる興味深いカエルです。

(撮影：長瀬 健二郎)

||||| 動物と私 |||||

△ムササビの棲む森で

高野山は、弘法大師「空海」が真言密教の根本道場として開闢した、世界に知られた山岳宗教都市です。

高野山の一角に、総本山金剛峯寺奥の院があります。一の橋から「空海」が入定した御廟まで約2kmにわたり石畳の参道が続き、苔むした墓石の並ぶ一種異様な光景が広がります。また、墓石を抱くかのように、圧倒的な迫力を持って杉の大樹が茂り、昼なお暗い聖域を醸し出しています。

この杉林をねぐらにしている動物がいます。ネズミ目リス科に属するムササビです。

△ムササビは夜行性で、一般的に大木の樹洞をねぐらにし、そこから周囲の餌場の森へとでかけ餌を採ると言われています。この際、前肢から後肢までつながった皮(飛膜)を広げ、木から木へとグライダーのように滑空してゆきます。その姿は特徴的であり、高野山周辺では、その特徴からムササビを「のぶすま」(野の嶼の意味)と呼ぶこともあります。

日暮れとともに「グルルルー」というムササビの鳴き声が、参道のあちこちから響き、杉の木を駆け上がる爪音も聞こえます。赤いセロファン紙をかぶせた懐中電灯で照らすと、キラリ



河野 敏輝 さん
(和歌山県高野町職員)

とムササビの目が光ります。梢近くまで上ったムササビは、回りを警戒するように見渡し「グルルルー」と鳴き声をあげたあと、飛膜を広げて遠くの木へと滑空してゆきます。

ねぐらになる樹洞が多いのが、参道には相当数のムササビが生息しています。観察に出ると4~5頭のムササビは見られるし、声だけなら10数頭を確認することができます。特に繁殖期を迎える4~5月や10月頃は活動が活発で、あちこちで滑空する姿が見られ、鳴き声がうるさく思えることさえあります。またそんなときには、参道を走り抜けて行くムササビの姿が観察できたりもします。

紆余曲折の末、私は、昨年7月よりこのムササビが棲む森で、小さなネイチャーセンターをひとりで運営しています。

林間学校などで訪れる子供達の指導や、一般を対象にした自然観察会やワークショップの企画・運営、広報紙の発行、資料の整理やディスプレイなど、かつての経験を生かして様々な活動に奔走しています。

体力的にはきついものの、私自身が一番やってみてみたかったことを、仕事としてやれているのだから「幸せ」であると感謝もしています。

このネイチャーセンターの活動が、新しい高野山のイメージづけ(CI化)に結び付けばなによりであり、そのために私は今後も地味な努力を黙々と続けて行こうと思っています。

ムササビの棲むこの森が私のフィールドであり、ムササビを始めこの森に棲むすべての動植物が私の生活を豊かにしてくれる仲間です。この仲間達と、これからどんな付き合いが続いていくのか、興味津津の毎日です。

(かわの としき)

← アムールトラの赤ちゃん誕生

3月14日に誕生しました。現在2頭がすくすくと育っています。5月8日には1回目のワクチン接種をし、6月5日から親子で展示しています。性別は雄でした。



私がかつて、ゴリラになったことがあります。いや、もっと正確に言えば、ある時ゴリラの目で人間をながめている自分に気がついたのです。

野生のゴリラを観察するのは、そうやさしいことではありません。長い間人間に狩りたてられてきた過去をもつために、野生のゴリラは人間を非常に恐れています。近づけば一目散に逃げてしまうし、ちょっと慣れたら逆に胸を叩いて挑戦してきます。彼らの恐怖心を取り除くには、ただひたすら彼らの後を追ひ、穏やかな態度で接して自分が敵でないことをわかってもらうしかないのです。これには少なくとも数年はかかります。

アフリカのジャングルで、私は毎日ゴリラについて歩き、ゴリラが好む風景や地形、食物などを五感で味わうことになりました。ゴリラが慣れてからは、なるべく彼らの邪魔をしないように行動しなければなりません。ゴリラのように歩き、ゴリラの声をまね、ゴリラのようにすわって休むのです。そうこうするうちに、自然にゴリラのしぐさが私の身についてしまったのです。

ゴリラを観察するとき、私はいつも一人でした。目の前にいるゴリラとしか目を合わす仲間も口をきく相手もいなかったのです。そのため、私はゴリラたちと声をかわして一日を過ごすようになりました。ゴリラがグフームというげっぶのような音声を発してあいさつすれば、私もげっぶ音を出し、ゴリラがコホッ、コホッと言って私の接近をとかめれば、私は後ずさりをして邪魔にならない距離を保つようにしたのです。

こんな生活を数カ月続けて人里へ下りてきた私は、すっかりゴリラのペースで行動するようになっていました。そんな私の目に、人間の姿がどことなくおかしく映ったのは無理もないことでした。

落ちつきのないヒトの社会

まず私は、人間のしぐさがとてもせせこましく見えてしかたがありませんでした。小さな頭に短い胴体、やけに長い足が不安定な感じを与えます。しじゅう腰を浮かして頭を小刻みに振り、手をさまざまに動かして体のあちこちを触る人間の行動は、

見ているといらいらしてきます。とくに人と人が会話をしているとき、手や頭は実によく動くのです。

なぜゴリラのように泰然自若としてられないのだろう。そのとき私は思ったものです。ゴリラならば長い腕を地面に立てて悠然と歩き、どっかりと腰を下ろして腕を組み、じっと相手を見つめることでしょうか。その姿勢はいささかも揺るぎなく、疑いをさしはさむ余地のない信頼感を相手に与えます。

人間の目の動きも、私がかまんならなかった特徴の一つです。他人と向かい合っているとき、人



興奮を静める時、ゴリラは顔を見合わせてじっとしていることが多い

間の目は実に目まぐるしくあたりを見回します。視線は相手の顔、肩、手、足とさまよい、どこかに焦点を合わせるといったことはありません。ゴリラならば、相手の顔の中央に視線を止めるか、わざと横を向いたままで顔を動かさず、ちらちらとこちらを流し見ることでしよう。そういうゴリラと向かい合うと、なぜかいつも正さねばならないような気持ちにさせられるのです。

なぜ、これほど人間のしぐさがせわしく見えるのか。おそらくそれは、ゴリラが少数の信頼できる仲間とだけ暮らす習慣をもっているのに対し、人間はさまざまな隣人と日常的に多様な付き合いをするようにできているからでしょう。私たち人間は、初めて会った人やあまり知らない人にどう対応するかをすばやく判断し、相手に応じてさまざまに自分の行動を変えなければならないのです。



マウンテンゴリラの集団は背中白い大きなオス1頭と複数のメス、子供たちでできている

ゴリラとヒトの間

でも、日々ゴリラと付き合っていると、人間とよく似た行動も目につくようになります。たとえば腕を組む姿勢は、ゴリラでも人間でもあまり顔を動かさずに相手を見据えたり、自分の態度を固める時に用います。不思議なことに、腕を組むと自然に口がへんの字になり、あまりキョロキョロとあたりを見回さなくなるのです。ゴリラが両手の平で交互に胸を叩くのは、ドラミングという自分を誇示する行動で、興奮すると木の幹や地面を叩いたり物を放り投げたりします。人間も「よっしゃ、



オスゴリラのドラミング。軽い太鼓のような音は2km四方に響きわたる

まかしとけ」などと言って胸を叩きます。むしろくしゃすると物を叩いたり壊したりするのもよくあることです。人間が無意識にする行動には、ゴリラとそっくりなことがよくあるのです。ゴリラの顔の表情にも人間と共通なところが多々あります。口をとがらすのは不満の表明で、上下の唇を巻き込んで噛みしめるのは、強い迷いや興奮を抑えようとする際によく現れます。舌をペロリと出すのは、失敗したときや意外な状況に出くわした時の心の動揺を示しているようです。また、ゴリラはサルと違ってよく笑います。サルにも人間の笑いと同じく似た表情がありますが、これはむしろ恐怖や、自分より強い相手をなだめる卑屈な表情です。ゴリラの笑いは喜びの表現で、遊ぶときによく浮かびます。



向かって右のゴリラが口びるをぎゅっと結んでいる

ゴリラの目の動きや色も、人間と同じようにそのときどきの感情を示すバロメーターです。怒ったときは目がきつくなるし、恨めしそうなときは斜視に見えます。好奇心をもつと輝きが増すし、怒ると目の色が薄められるように感じるので、

ゴリラの祖先と人間の祖先は今から700~900万年前に分かれたと言われています。私たちの目に映るゴリラと人間の違いは、この数百万年の間にゴリラと人間が独自に発達させた特徴と考えられるのです。ゴリラを見ていて「不思議だなあ」と感じるのにはゴリラだけの特徴、「なるほどなあ」と感じるのには私たちとの共通点なのでしょう。でも、ひょっとしたら、「不思議だなあ」と感じるゴリラの特徴にも私たち人間の祖先が過去にもっていた特徴が残されているのかもしれない。

ゴリラとヒトの共生

ゴリラの本性やユニークな社会の特徴を知るために、そしてゴリラの自然な暮らしを保護するために、アフリカではさまざまな活動が試みられています。

野生のゴリラを観察するエコ・ツーリズムもその一つです。これは自然やそこで暮らす動物をなるべく侵害しないように観察し、ありのままの姿から学ぼうという学習型の観光です。ゴリラは森林を広く使っているため、ゴリラについて歩けばゴリラの目を通して森林の様子がよく分かります。それに、ゴリラは私たち人間とよく似ているので、彼らの行動を通して納得できることが多いのです。

野生のゴリラを観察するには多くの注意を守らなければなりません。動物園と違って私たちは安全な障壁で守られていないので、注意を怠ればゴリラに襲われて大けがをしないとも限りません。身近に巨大なゴリラがやってきますから、観察する際には強い緊張を強いられます。でも、そういった注意を守ることによって、自然がどんなに壊れやすいものか、野生動物がどれほど私たちと違う生活をしているかを学ぶことができるのです。

最近、難民問題で苦しむアフリカのザイールにも「ボレボレ基金」(ボレボレとは「ぼちぼち」という意味)という民間団体が生まれました。地元の若者たちが野生動物と共存し、自らの伝統社会の良さを積極的に利用して保護と地元発展を計ろうという試みです。何しろできたばかりの団体に資金もなく、政府や外国からの援助も得られないので、これに賛同する私たちは絵はがきの販売や普及活動をして援助金を集めています。

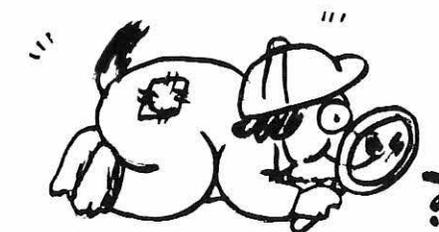
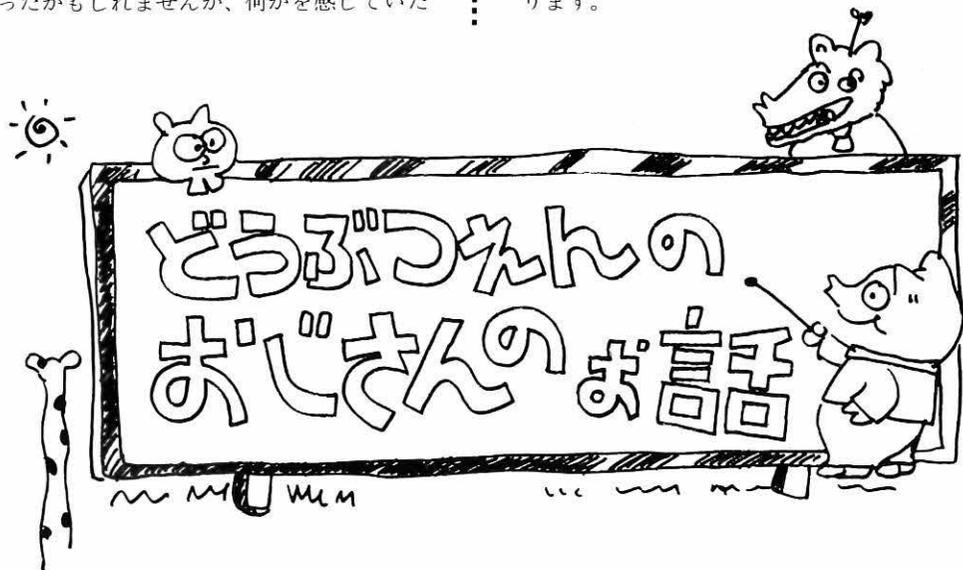
動物園で暮らすゴリラたちも、できるだけゴリラらしい生活を営んでもらいたいものだと思います。世界の動物園もどんどん様変わりし、それぞれの動物に合った飼育環境が工夫されはじめています。日本の動物園も新しい時代を迎えました。ゴリラが自分で結婚相手を選べるようになり、天王寺動物園のゴリラも近々見合いをしにいくと聞きました。ゴリラたちが自分の好むように群れをつくって暮らせるようになれば、動物園のゴリラの行動も変わってくるでしょう。それを見て私たちが学べることも多いに違いありません。近い将来、動物園でくつろぐゴリラたちときままに会話できる時がやってくるだろう、と私は楽しみにしているのです。

(やまぎわ じゅいち)

ZOOセミナーを開催して

私 たちは自前の教育活動の一つとして、毎月第3日曜日に「動物園のおじさんのお話」と題してレクチャールームで獣医師や飼育係が、それぞれの担当の分野での話を入園者に行うという催しを行ってきました。回数はすでに200回以上に達し、スタートした頃の不安を考えると隔世の感があります。現在ではレクチャールームの話だけに止まらず、園内のガイド又は自らが担当する動物舎の前でのガイドなどもあり、その月の企画にそって担当する本人のやり易い方法、又はやってみてみたいことを行ってみるなどと、けっして型を決めてしまっているわけではありません。それぞれの得意な分野、個性を引きだしていくことが大切だと考えています。新人の飼育係も、自分の担当する動物のことを、ごく普通に対話するように言葉がだせればいいと、先輩におだてられ、あるいはおどかされ初舞台をふんでいきます。一つの条件としては「ウソはいけない」ということだけです。先日もある新人がガイドを行いました。本人もそれなりに色々準備したのですが、どれだけのことを伝えられたのでしょうか。でも、多くの入園者が彼のひたむきな姿勢にうたれ、耳をかたむけてくれました。動物舎の案内となると列ができて、整理する必要がある程になった位です。その日の参加者は特にその動物の知識を深めたいとの意識はなかったかもしれませんが、何かを感じていた

だいたに違いありません。そして終りにいただいた「ありがとう」という参加者からのあたたかい言葉がなによりも本人の励みになったことでしょう。さて、この200回以上続けてきた、「おじさんのお話」もそれなりの効果があったと思っておりますが、教育活動ということを深く考えた場合、これは単なる入園者サービスにすぎないと感じる場合もあります。問題の一つとして、一応定例化して行っているのですが、決してその催しの為に来園するという人はほとんどといていい程いません。たまたまその日入園した人、あるいはその場所の近くにいた人が参加するという事になってしまいます。ですから不特定多数、幼児からお年寄りまでということになります。特にレクチャールームでの催しでは、呼びこみをして人を集めますが、内容によっては子供達がさわがしくなって、最後まで聞いてみたい人には少し迷惑になることがあります。静かに聞いている人も実は空調のいい所で昼寝ということもあるのです。このような人々を十分に満足させようとすれば当然内容は限られてきます。スライドやビデオを使つての動物の赤ちゃんや子育ての話になってしまいます。けっして間違っているとは言いきれませんが、又せっかく用意したにもかかわらず天気の状態などであまりにも少人数になりもったいない気にもなることがあります。



動物園でも
いろいろな発見があるよ。

私たちはもう少し上級のレベルの話ができるはずですし、専門的な講義ができる能力があるはずで。生涯教育がいわれている時、動物園も博物館としてその使命を問われているからにはもう一つハイクラスな企画も必要とされてきました。特に環境教育の場として位置つけた場合、動物園でしかできない分野があるはずで。動物は可愛いものだ、というような動物の見せ方、伝え方だけが私達の本来の役割ではありません。むしろ、このような事が動物園の犯してきた過ちの一つだと個人的には考えています。もっともっと、動物学にそった科学的な内容をともなったことを知らせる場をもとと、今回のZOOセミナーというものを企画しました。

多くの人たちにとって別に動物園がそんな事をしなくても楽しければいいと思われているかも知れませんが、こんな事が動物園で常に開催されていて、名実とも生涯学習の場として市民の場に位置づけられるように願ってテーマ、対象などをしほり初開催しました。

開催時期、定員、講師、内容、案内方法は次の通りです。

マスコミで紹介されたため、募集人員はすぐぐまる位早い反応がありました。動物園に対する期待が深まっているのでしょうか。又、近くの他の動物園の職員がひそかに応募するということもあって驚かされました。4回開催し盛会裏に終了しましたが、多くの反省させられることがありました。もっとうまく話さなければいけなかったのでは、など今ふりかえってみると、よくまあ、大胆なことをやってしまったと冷や汗が流れ落ちる気さえます。

今年はどうするのかという声ももう伝わっています。一回限りでは動物園は所詮この程度のものを見切りをつけられかねません。なんとか、力を合わせて、継続していけるよう努力するしかないのです。材料は無限にあると思います。講義と案内案内のようなものを組みこめばさらに広がりがでてくることもあるでしょう。

とにかく前へ進みたいのです。期待を持って見守ってください。

(飼育課：大野尊信)

1994年Zooセミナー 飼育係から見た動物の世界 (動物園でできる行動観察)

募集要項 募集期間：1994年10月1日～10月20日
募集人員：先着50名
受講資格：中学生以上で4回連続で参加できる方
場所：天王寺動物園内レクチャールーム

参加者アンケート結果から

日程と参加者数	
第1回 人数 内容 担当	11月12日(土) 53人 動物の行動とは 天王寺動物園飼育係 早川 篤
第2回 人数 内容 担当	11月19日(土) 44人 コアラの親子行動 天王寺動物園飼育係 早川 篤
第3回 人数 内容 担当	11月26日(土) 39人 動物園で観る野鳥 天王寺動物園獣医師 榊原安昭
第4回 人数 内容 担当	12月3日(土) 37人 飼育下のニホンザル 天王寺動物園飼育係 大野尊信

講義内容について

- ・一般レベルでわかりやすかった
- ・レベルが高すぎた
- ・もっとスライドや映像を使ってほしい
- ・ちょこちょこ出る秘話がもうほしかった
- ・動物園で動くにはこんな勉強をしないといけないと思った
- ・動物を見る目が変わった

次回セミナーで、希望される内容は?

- ・動物園の裏側ツアー
- ・絶滅の危機に瀕している動物について
- ・室内の講義に加えて実際に動物園を回りながら解説してほしい
- ・時間をもう少し長くしてほしい
- ・参加者の交流会をしてほしい
- ・専門的に研究している方の講演

グラフZOO

舌べろ



サル目ヒト科ヒト

非常に器用な舌を持ち、ときどき舌先三寸で二枚舌を使うことがあります???



ネコ目ネコ科ライオン

ざらついた舌の表面は骨についた肉を舐めとるのに適していると言われています。しかし、子供を舐める時はやさしく扱います。

今月号ではいろいろな動物の舌を特集してみました。

(撮影・構成編集：中川哲男)

ネコ目クマ科

マレーグマ

朽ちた木の中のシロアリや果実や花の蜜を舐めとるのに適した長〜い舌!!!



ウシ目カバ科カバ

とてつもない大きな口と長大な舌。一度舐められてみたいですね。人によく馴れるのでときどき大きな口を開けて歯みがきのPRに使われます。



ウシ目キリン科

アミメキリン

40cmもある舌は草を巻きとったり、高い梢の葉を巻きとって食べるのにうまく適応しています。



ウマ目バク科

ブラジルバク

鼻先が長い分だけ舌もよく伸びるようです。突き出した鼻を舐めるため出したりひっこめたり素早い動きをします。



ワニ目クロコダイル科シャムワニ

開いた大きな口。舌の長さもこれと同じくらいに長大な物を持っています。セレンゲティ草原の河で、ヌーを「バクツ」と襲うワニはつとに有名。



ゾウ目ゾウ科アジアゾウ

アフリカゾウと比べると顎の中も狭いようで、舌先も尖っています。味覚が大変発達していて、干草の質が違っていたりすると全く食べません。もちろん薬を飲ませるには大変苦労します。

公園花だより 14

梅 雨どきのはっきりしない天気が続いています。しかし梅雨明けももうすぐです。そして本格的な夏がやって来ます。さて平成2年に自然と人間の共生をテーマに「国際花と緑の博覧会」が開催され、多くの人々が自然環境の重要性を再認識しました。大阪市では、この博覧会を一過性のイベントとすることなく、平成2年10月に「花と緑のまちづくり宣言」をし、市民をはじめとして広く協力を得ながらさまざまな花と緑のまちづくり推進事業を実施しています。この様な花と緑のまちづくりの機運を21世紀に向けて一層盛り上げていくとともに、関西国際空港開港に伴い大阪の南の玄関口として天王寺公園は、日々発展をしています。天王寺公園の7月は、慶沢園の池、茶臼山の川底池にある水生花園の植物が賑いを見せています。ことに慶沢園の池では竜頭石の前で



ヒツジグサ

未草(ひつじぐさ)が5月から水面一面に葉を広げ、下旬ともなると可憐な花の盛りを迎えて9月頃まで目を楽しませてくれます。未草は未の刻(午後2時)につぼみが開くので名づけられたようですが、必ずしも一定ではなく、もっと早く咲くこともあります。たいてい午後6時頃につぼみを閉じ、3日間開閉をくり返す様です。さらに滝の前の休憩所前にはスイレン科のヒメコウホネが小さな黄色い花を付け、その光景は前面の美術館を背景に見事なまでの対照美を見せています。



ヒメコウホネ

植栽してありますが、力芝といった方がなじみがあると思います。この植物はよほどの日当りを好み、しかも踏み固められた土が好きなのです。力芝の意味はこの草を引き抜く時にかなりの力が必要なのとあります。この草の事を高知県では「ババアの腰抜き」というのだそうです。両手で草を持ち力いっぱい引き抜いたとたんスッポンと抜けて思わず腰を抜かしてしまうということでしょう。このように固い土に良く根を張っているので抜きにくいのですが抜け始めると根が浅い為スッポンと抜けてしまうわけです。実は、力芝を見ると子供の頃を懐しく思い出します。近所の野原でよく野球をして遊んだものですが、その野原は踏み固められた力芝で一杯でした。そういう所には、たいていいじめっ子がおり、小さな子供達は遊び場をとられたり泣かされたりしました。そういう時にはこの力芝の葉の束を結んで輪をつくり、そこにいじめっ子が引っかかって倒れるのを見て仇を取ったとばかりに喜んだものです。花が咲き実がつく穂は毛が長くスッポンによく付着してそれがこの草の繁殖を助けている様です。



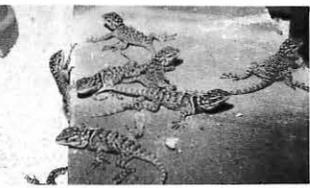
バンバグラス

人や動物がよく通る道端に生えやすいのはこのためだと思います。秋になるとブラッシの様なこの草の穂がいっぱい生えて風になびいている風情は地味だけれど悪くはありません。沈床花壇では、5月の連休明けにバーベナ宿根草12,000株を植付くれました。そのうち株も大きくなり花壇を色どってくれることと思います。バーベナ宿根草は主にブラジル南部に原産するクマツヅラ科の多年草であるバーベナ・テネラ等を元に交配された園芸品種です。最近では「タビアン」、「花手毬」など、さまざまな系統の品種が作り出されています。映像館では入口の通路の壁面はヘデラを植栽し、植込みには、コノデガシワ、前面には季節の草花を植付けて皆様のおい出をお待ちしています。映像館も新しく改造され無料で上映しています。また7月1日から8月31日まで天王寺公園はナイター開園(午後9時迄)を行っています。さらに秋には盆栽展、山野草展、菊花展、園芸講習会を行うなどいつ来園されても楽しめる展示を企画しています。ぜひお立ち寄りください。

(管理課：仁田原 洋)

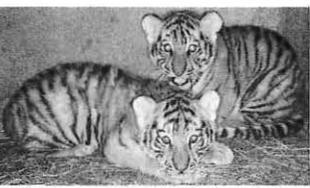
- 5/1. ライオンにワクチン接種しました。
- 5/2. アカショウビン1羽を保護しました。
- 5/3. タンザニアアカノドシャコが5羽ふ化しました。

5月4日 アオハリトカゲが12頭生まれました。このトカゲは卵胎生で赤ちゃんは親とほぼ同じ形で生まれます。爬虫類生態館「アイファー」の裏側の繁殖室で飼育しているので残念ながらご覧になれません。



- 5/5. 春の動物と花のフェスティバルの「こんにちは、どうぶつくん」でゾウと爬虫類のお話をしました。
- 5/6. 今季4頭目のニホンザルが生まれました。チュウシャクシギ1羽を保護しました。
- 5/7. 爬虫類生態館「アイファー」の裏側で飼育しているタガメが産卵しました。

5月8日 3月14日に生まれたアムールトラの赤ちゃん2頭に1回目のワクチン接種をしました。同時に性別判定と体重測定を行ったところ、2頭ともオスでした。



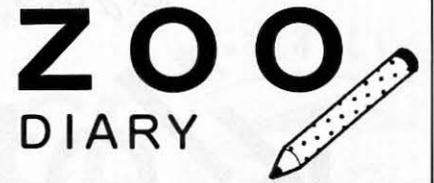
- 5/11. ヤギ2頭が下痢をしたので、治療を始めました。
- 5/12. 今年4月に保護したアマサギなど3種6羽の野鳥が元気になったので、自然にかえしました。
- 5/15. ニシローランドゴリラのオス「ゴロ」をゴリラ繁殖計画の一環として千葉市動物公園に貸し出しました。
- 5/16. アムールトラの母仔を一般公開しました。
- 5/17. メスのウンビョウウの健康診断を行いました。

5月20日 パタスザルが生まれました。2回目の出産でしたが、残念ながら今回は母親が赤ちゃんの面倒をみないため人工哺育することになりました。赤ちゃんはメスでした。



- 5/21. オオコノハズク2羽が静岡市立日本平動物園から来園しました。健康チェックした後、夜行性動物舎で展示する予定です。
- 5/22. ペンガルトラが出産しました。産室をベニア板で囲っているため頭数は不明です。

今月もおもしろ情報満載



5月24日 気温が上がってきたのでオウサマペンギンを屋外展示場から冷房のきいた屋内展示室に移動しました。この時、伸びた足の爪を切り、体重測定をしました。また、個体を区別する標識を翼に付け直しました。



- 5/25. イフトビペンギンとマカロニペンギンを屋外展示場から冷房のきいた屋内展示室に移動しました。
- 5/26. 今季最初のニホンジカが1頭生まれました。
- 5/27. 4月7日に生まれたアカカンガルーの赤ちゃんが初めて育児袋から出ました。

5月30日 第10次大阪市・上海市友好都市提携動物交流事業の一環として上海動物園の



動物交流代表団4名が来園し、4月4日に先着したヨウスコウワニ4頭とチュウゴクオオクビガメ6頭の贈呈式を行いました。

■お知らせ■

- 動物園のおじさんのお話「トラウォッチング」
日時：7月16日(日) 午後1時から
場所：トラ舎
- 第21回サマースクール
7月21日(水)～26日(月)
第1組・21、22日 第2組・23、24日 第3組・25、26日
- ホッキョクグマに氷柱プレゼント
7月23日(日)

訂正：6月号P6、左側本文19行目「1973年」は「1983」のまちがいでした。
6月号P8、干潟の説明文「リリハシセイタカシギ」は「ソリハシセイタカシギ」のまちがいでした。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価680円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間は？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価680円

むしくらしと かいかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしと かいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

新・きれいな色 FUJICOLOR SUPER G ACE 400



カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

動物の生態を描く唯一の文学雑誌

動物文学

昭和九年平岩米吉によって創刊

本誌は生態研究を基礎として動物文献を収集整理する
とともに、シートン、ザルテン、バイコフ等の諸作家
を紹介した本邦動物文学の母胎です。

<研究・考証・記録・随筆・翻訳等を掲載>
会費/年1,500円(切手72円・呈既刊号目次)

動物文学会

〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話03(3717)1659・振替・東京5-9800

新作
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本 入園の記念・手引に……



オールカラー
500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

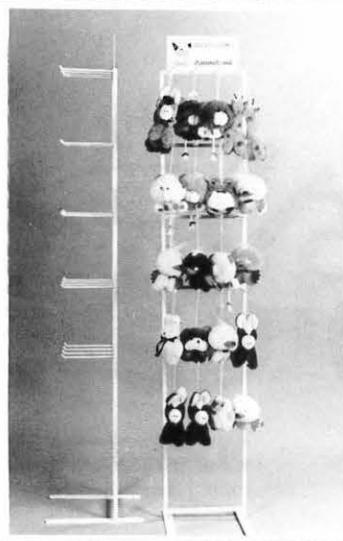
マスターのポップコーン



<営業品目> 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06)865-0165



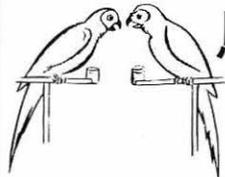


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

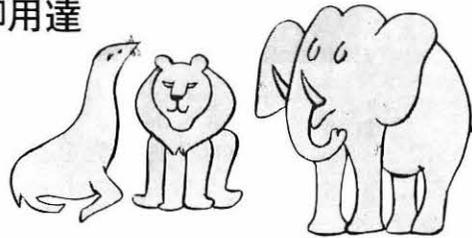
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06)704-8580
FAX: (06)704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での
お食事、
ご休憩は

動物園内.....

中央売店

TEL 06-771-0973



お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110



LOTTE



サクッとスリムなプレッツェルを、
こんがり焼き上げたあとに
チョコをたっぷり入れました。
「トッポ」のおいしさの人気は、
ここがポイントです。



雪印
つぶよみ
フルーツ
ヨーグルト



●ライチミックス ●ストロベリー ●アップル ●ピーチ ●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココとパイナップル—— ●ライチミックス
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って—— ●ストロベリー
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の—— ●アップル
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で—— ●ピーチ
 アプリコット、メロン、アップル、パイナップル、ミカン。果物狂の—— ●フルーツミックス

お待たせ
新発売

希望小売価格・税抜 各100円



一日
愉快地
たのしめる

◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。



久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1995年7月10日発行(毎月10日発行)第31巻 第7号(通巻359号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所

発行人/大阪市天王寺動物園協会 土井良彦

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員

(橋本 勲/馬詰好文/増野悦敏/中川哲男/吉本昌俊/長谷川敏昭/谷森 進/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭/森本泰利/高橋雅之/中上正幸/堀内智生/小林崇宏/竹田正人/大野尊信/野口秀高/早川 篤/土谷正道/村上勇一/仁田原洋)